



緑 そよ風 自然とのふれあい

のんびり

ふれあい

史跡散歩

第1回 ふれあいウォーク

当日（5月12日）は、子どもからお年寄りまで約1000人の方が町文化会館に集まり、斉藤要教育長の「ようこそ参加くださいました。今日は、のんびりと散歩しながら、町の歴史に触れてください。」とのあいさつを受けて出発しました。

わたしたちの暮らしている横芝にも、数多くの史跡や文化財がありますが、とかく地元の文化財には目が届かないものです。こういったことから町教育委員会では、みなさんに少しでも多くの文化財を見ていただき、横芝のよさと歴史を知っていただくこと、「第1回ふれあいウォーク（史跡散歩）」を開催しました。

そして、約1時間で町原地区にある町指定天然記念物「大銀杏」に到着。早速、木を囲んで由来や伝説といった説明を受け、そのなかでも、坂田城と同じ500年の樹齢をもつとの説明には、驚きやため息やらといったようでした。

近くの大総小学校で休憩したあと、一路、坂田城跡（地



パネルを見ながら、坂田城の説明をうける参加者



乳のみ児と貧しい母にまつわる悲しい言い伝えもある大銀杏 幹まわりは約6.5m

元の人たちは「城山」と呼んでいる。へと向かいました。城山には、約5ヘクタール、3500本の梅林があつて、直径約1センチメートルほどに育った梅が、緑の色を濃くして待ち受けてくれました。そして、ウグイスが気持ちよさそうにさえずる静けさの中心を散策しながら、堀跡や本丸跡などの説明を受けると、参加者は当時の人々の暮らしを感得しているようでした。

このころからパラパラと雨が落ちてきたため、一行も足早となり、次の見学地の「坂田池公園」は通過するだけになってしまいました。公園では、5月の日差の下でお弁当をほおぼる姿が見られるはずでしたが、この雨のいたずら、チョツと残念でした。

でも、そよ風になびく早苗や道端の草花に目を向けながらの散歩は、ふだん歩くことの少ない人にとっては、ちょうどよい運動になったのでは？ 次の機会には、あなたも参加してみませんか。